

# 1月の果実の見通し

令和3年12月28日現在  
山形県東京事務所

区分 品目	主産地	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		販売見通し
		前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年実績	前年比 見込	5カ年 平均	前年 入荷量 (t)	前年 占有率 (%)	
りんご類	青森 長野 山形 ほか	6026	85%	5630	343	高い	316	128	2.1%	2021年産りんごは、春先の凍霜害による影響が産地に大きな影響を与えた。年内の秋から、ギフト時期での計画数量は大幅な減少により、高値基調が継続した。1月は青森産以外は非常に少ない見込みだが、青森産も凍霜害の影響で下等級比率が高い予想。
いちご類	栃木 福岡 静岡 佐賀 ほか	4390	100%	3757	1474	並み	1551	-	-	秋の好天による前進出荷は11月まで。12月に入ってから生育にばらつきが多く、予想以上の入荷減が中旬まで継続した。九州管内は12月下旬からピークの予想で、1月上旬までだらだらと玉が小さくなりながら、数量は維持するだろう。1月中旬には栃木・静岡産が増量する一方で、福岡産は中旬～下旬に端境の山が大きくなる可能性がある。
キウイ	和歌山 福岡 愛媛 ほか	547	95%	677	530	高い ～ 並み	486	3	0.5%	「ハイワード」が本格出荷される。福岡産は前年並みの生産量だが、和歌山・愛媛産は前年に比べ少ない生産量が見込まれるものの、輸入の在庫量が残る見込み。出荷状況を見ながらの販売体制になるが、中旬からは引合いが強まる可能性あり。中心は30玉と前年に比べ大玉。
みかん類	愛媛 長崎 熊本 ほか	14575	95%	13670	252	高い ～ 並み	294	-	-	年内の天候は良く、順調な生育で食味も良い状態の出荷となった。年明けは静岡産「青島」中心の販売となり、出荷量は前年並みを見込む。大玉傾向だが、みかん類総体では量は前年ほど多くはない。前年は中旬付近まで年越し在庫を抱えていたが、今年は在庫はない状態にあり、相場は前年よりも強い傾向。また、1月は愛媛産「袋掛けみかん」など高単価商品の販売も始まる。
干し柿	山梨 長野 福島	245	85%	299	1739	高い ～ 並み	1598	2	0.8%	春先の低温の被害により、全体に干し柿は少ない傾向にある。福島・長野産メインであるが、福島産は前年の7割と少なく、単価高の傾向である。長野産「市田柿」は、前年は前倒し出荷であったことから1月は少なかったが、今年は一昨年並みにあり、前年の130%の見込み。富山・山梨産は12月メインとなるため、1月の販売は数回で終了。

引用資料:「東京都中央卸売市場における果実の品目別取扱実績」(青果物情報センター)、果実の入荷・市況見通しについて(東京青果株)

入荷量について:「0」はラウンドして1tに満たない入荷があったもの。「-」は本県のデータがないもの(入荷がないか、又は少なかったためにその他の産地に含まれる)